

修 士 論 文 の 和 文 要 旨

大学院 情報システム学研究科 博士前期課程 情報システム運用学専攻		
氏 名	加松 祐弥	学籍番号 0552010
論 文 題 目	サポートベクターマシンを用いた メッセージ解析に基づく花束作成支援システム	
<p>要 旨</p> <p>本研究では、利用者がオリジナルの花束を作成できるよう使用する花材の選択を支援するシステムを構築することで、従来の出来合いのものや完全に花屋任せにするのではない花束作りのサポートを目指す。ここでは、人に贈り物をする際には相手への何らかのメッセージが存在していること、花言葉は花そのものに与えられたメッセージであることに注目し、花束に使用する花材の持つ花言葉とメッセージを結びつけることを考えた。</p> <p>本研究では、あらかじめ用意したメッセージではなく、ユーザが任意で入力したメッセージのニュアンスや複合した意図を解釈しながら、花言葉に結びつけるシステムの作成を目標としている。さらに入力メッセージと選択された花材の組合せから、ユーザの好みを上手に取り込みながら学習するように工夫している。</p> <p>こうしたシステムを実現するために、ユーザが入力したメッセージを形態素解析を用いて単語に分解し、サポートベクターマシンによって作成した識別関数を使ってメッセージの分類識別を行っている。作成した識別関数は十分な分類識別精度を持っており、目標の一つであるニュアンスと複合した意図の解釈が適切に行われていることが確認できた。</p> <p>また、本システムではユーザの好みを反映させるために2つの自動学習機能を実装した。一つはユーザが入力したメッセージをサポートベクターマシンの訓練データに追加し、識別関数の再計算を行い、分類識別性能の向上を図る学習機能である。もう一つは、提示した花の中からユーザが選択したものをユーザの好みと解釈して、その花に近い花言葉を持つものが次回以降の利用時に優先的に提示されるよう学習する機能である。実際にシステムで好みの花材を選択したところ、設計の意図通り、好みの花材とそれに近い花言葉を持つ花材が提示されることを確認した。</p>		